

# 日本学術振興会の国際交流事業(一部抜粋)

事業名	事業概要	支援(実施)期間	支給経費額	募集時期	
外国人研究者招へい	外国人特別研究員 (一般、欧米短期)	諸外国の優秀な若手研究者を日本に招へいし、日本人研究者の指導のもとに共同研究に従事する機会を提供。	一般:12~24か月 欧米短期:1~12か月	渡航費(往復航空券)、滞在費、渡日一時金等 (事業によって異なる)	5月、9月 4月、6月、 10月、1月
	外国人招へい研究者 (長期、短期、短期S)	我が国の研究者が海外の研究者(中堅~)を招へいし、共同研究・討議・意見交換・講演等を行う機会を提供。	長期:2~10か月 短期:14~60日 短期S:7~30日	渡航費(往復航空券)、滞在費等	9月 5月、9月 5月、9月
	論文博士号取得希望者に対する支援事業	日本の大学において学位取得を希望するアジア・アフリカ諸国の研究者を我が国に招致、あるいは日本人指導者を派遣することにより、論文博士号の取得を支援。	3年以内	1件あたり120万円以内/年度	8月
若手研究者海外派遣	海外特別研究員	優れた若手研究者(博士取得5年以内)を海外に派遣し、大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援。	2年間	往復航空賃、滞在費、研究活動費(約380~520万円/年)	5月
	頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム	大学等研究機関が、海外のトップクラスの研究機関と世界水準の国際共同研究を行うことを通じて、相手側への若手研究者の長期派遣と相手側からの研究者招へいの双方向の人的交流を展開する取組を支援。	1~3年間	1件あたり初年度2,500万円以内/年度(2・3年度は4,000万円以内/年度)	5月
共同研究・セミナー・研究者交流支援	二国間交流事業 共同研究・セミナー	個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームのネットワーク形成を目指して、他国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーの実施経費を支援。	共同研究:1~3年 セミナー:1週間以内 (対応機関により異なる)	共同研究:100~300万円以内/年度 セミナー:120~250万円以内/年度 (対応機関により異なる)	9月
	国際共同研究事業 国際共同研究教育パートナーシッププログラム(PIREプログラム)	一国のみでは解決が困難な課題に対して、日本と米国の協力により資源の共有や研究設備の共用化等を通じた相乗効果を発揮するとともに、若手研究者の研鑽機会の充実を図るための国際共同研究を支援。	最長5年	1件あたり1,000万円以内/年度	予備申請9月、本申請4月
	研究拠点形成事業	A. 先端拠点形成型 世界的水準の研究交流拠点の構築を目的として、世界各国の研究機関との協力関係により実施する共同研究・セミナー等の活動を支援。	最長5年	1件あたり1,800万円以内/年度	10月
		B. アジア・アフリカ学術基盤形成型 アジア・アフリカ地域における諸課題の解決に資するため、アジア・アフリカ諸国の研究機関と実施する共同研究・セミナー等の活動を支援。	最長3年	1件あたり800万円以内/年度	10月

募集時期について:学内締切は通常1ヶ月ほど前に設定されます。ご注意ください。